

ば設置しているので現状を調査し善処したい。

### 総武本線複線化

問 横芝駅からの電車利用者数は、ここ数年横ばいということだが、JR総武本線の複線化とダイヤ増設は町民の多くが望んでいる。町の考えは。

答 総武本線は、昭和49年の電化により時間の短縮はされたものの、単線で運日本数が少ないため、地域住民の日常生活に不便をきたしており、町としてもこれまで積極的に陳情活動等を行ってきた。

平成元年には、千葉県及び県内市町村で、「千葉県JR線複線化期成同盟会」を発足させ、毎年JR東日本に対し陳情活動を行っているところでもある。特に当町としては、佐倉・銚子間の複線化と八街以東の快速電車の運行延伸、増発を要望している。利用者の減少や複線化に伴う工事費、用地問題等からJR側も非常に厳しい状況下にあるようだが、跨線橋とホームの改修も含めて今後も強く要望していきたい。

### 駅前広場の利用計画

問 昨年度に国鉄清算事業団から購入した駅舎東側用地は、今後どのように利用していくのか。

答 駅構内が狭いため、一部は

バス、タクシー利用者の乗降場所等に整備したいと考えている。残地については、地震等の災害時における地域住民の避難場所として緑地を備えた広場を計画している。



整備計画が進められている駅東側用地

### 核実験問題

問 フランス、中国の核実験については、町村会等呼びかけ、大きな反対の意志表明をしたいとのことであったが、その結果はどうであったか。

答 10月の町村会で、非公式だがこの件について話し合った。各町村長、核実験には強く反対しているが、公に表明するまでには至らなかった。

### 骨粗鬆症

問 骨粗鬆症の検査結果と40才

以上を対象外とした理由について伺いたい。また、今後の予定は。

答 対象者は20才から39才までの女性1720名で、この内271名が受診している。結果は、異常なしが263名、要指導が2名、要精査が6名であった。検査対象者は、医師や保健所等と協議し、骨密度や検査後の指導体制を考慮して20才から39才までとしたが、40才以上の方についても、現在、検査を実施する方向で検討している。

### 認定農業者制度

問 ①11月から施行された新食糧法や農産物の輸入自由化等によって、今、日本の農業は歴史的な激変の時代を迎えている。このような情勢の中、国が示した新農政に基づいて町は認定農業者制度を推進しているが、その状況と問題点について伺いたい。②また、認定を受けられない農業者でも意欲がある人は大事な担い手と思う。これらを認定する考えはないか。

答 ①認定農業者制度は、農業経営基盤の促進を図るため、意欲と能力のある農業者を幅広く育成していくもので、平成7年3月に基本構想を策定した。冊子の配布や説明会の開催、相談窓口の設置を行っている。また、

農林漁業金融公庫から融資を受けた場合の利子補給補助金交付要綱を制定し、利子補給を行うべく予算措置を講じた。

しかし、現時点で認定農業者は誕生していないが、4名の方が認定を受けるための農業改善計画を作成中であるので、計画書の提出がありしだい審査会を開催し認定したいと考えている。

問題点ということだが、スタートしたばかりの制度であるので、認定を受ける農業者が少ない理由について説明したい。

主なものとしては、

▼認定農業者は、農林漁業金融公庫から低利で融資が受けられるが、現在の金利情勢から、他の資金についても低利で融資が受けられるので、認定農業者としてのメリットが少ない。

▼規模拡大の農業者は、施設や機械を導入済みで、融資を受けて設備投資する必要がない。

▼営農組合に加入している農業者は、機械の共同利用ができるので稲作機械の投資が少ない。

▼露地野菜の農業者は高額の機械を必要としない。

などが考えられる。

②農業改善計画の内容が町の基本構想に照らし合わせて適切であることなどの認定基準はあるが、意欲と能力があれば認定農業者として認定したいと考えている。

### 福祉行政

問 保健福祉センターの建設場所、用地、規模など具体的な構想を伺いたい。

答 高齢化社会を迎え、これらの施設整備は急務で、町も保健福祉センター(仮称)の建設計画を進めている。現在、基本計画を策定中であり、年度内に完成する予定であるので、その後具体的な検討に入っていきたい。



### 中学校移転問題

問 中学校校舎の移転問題は、町にとって重要な課題であり、当議会でもたびたび議論されている。近隣町村の状況をも校舎建設に向け決断すべきと考えているか。

答 耐力度検査の結果を踏まえ、県教育庁並びに文部省等と協議し、前向きな方向で検討していきたい。